



2024年11月13日

各位

会社名 株式会社コアコンセプト・テクノロジー
代表者名 代表取締役社長 CEO 金子 武史
(コード番号: 4371 グロース市場)
問い合わせ先 執行役員 経営管理本部長 梅田 芳之
TEL. 03-6457-4344

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024年11月13日開催の取締役会において、2024年2月13日に公表しました2024年12月期の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,856	2,398	2,399	1,646	96.79
今回修正予想 (B)	19,100	2,000	2,017	1,333	77.94
増減額 (B - A)	△1,756	△398	△381	△313	-
増減率 (%)	△8.4	△16.6	△15.9	△19.0	-
(参考) 前期実績 (2023年12月期)	15,921	1,744	1,765	1,303	76.59

2. 修正の理由

2024年12月期第3四半期の業績は対前年同期で増収増益ではありますが、計画は下回って推移しております。

計画未達の要因として、DX支援について、組織規模拡大に伴い上位層が内部管理に時間がとられ、営業活動量が不足した結果、新規リード数が計画を大幅に下回ったこと、大型ERP導入支援を当期内に本格化できなかったことが大きな要因です。利益は売上が計画通り伸びなかったことのほか、ERP領域立

ち上げ段階で有識者投入などの体制強化及びサービス強化が必要となり工数・人件費が増加したこと（それにより一部低採算案件も発生）、子会社の新規連結等の影響によります。

IT 人材調達支援については、売上高は既存の一部大口顧客からの受注減の影響を他案件でカバーしきれなかったこと、特にインフラ領域において営業体制の整備が遅れ受注が伸び悩んだこと等により、利益については売上高が伸び悩んだ影響で計画未達となっております。

このような状況を踏まえ、通期の計画を見直した結果、売上高及び利益がともに連結業績予想を下回る可能性が高いと判断したため、上記の通り修正することといたしました。

（注）上記の業績予想は、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上